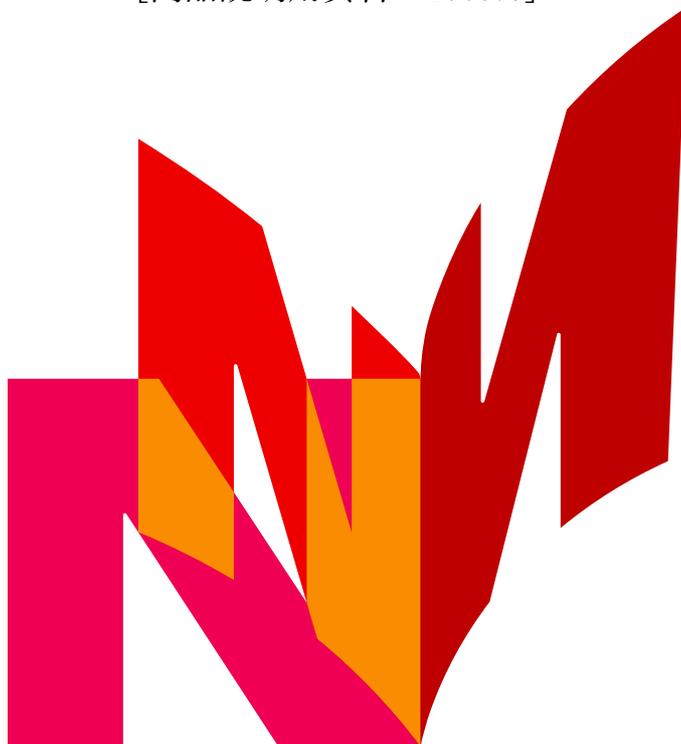


ノムラ日本株戦略ファンド

愛称：Big Project-N

追加型投信／国内／株式

[商品説明用資料 2009.6]



ノムラ日本株戦略ファンド

Big Project-N

当ファンドの投資リスク

ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。

——ファンドのリスクは上記に限定されません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。——

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

SBI証券

商号：株式会社SBI証券
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号
加入協会：日本証券業協会／(社)金融先物取引業協会

設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：(社)投資信託協会／(社)日本証券投資顧問業協会

ファンドの特色

わが国の株式を実質的な主要投資対象*とし、中長期的にわが国株式市場全体のパフォーマンスを上回る投資成果を目指して、積極的な運用を行なうことを基本とします。

※ファンドは、「ノムラ日本株戦略ファンド マザーファンド」を親投資信託(「マザーファンド」といいます。)とするファミリーファンド方式で運用します。「実質的な主要投資対象」とは、マザーファンドを通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
なお、直接株式等に投資する場合があります。

1. マルチ・スタイル運用により、異なる3つの投資スタイルを組み合わせます。

幅広い投資機会を捉えることを目指します

株式市場では、構成している全ての銘柄が同一に動くわけではなく、経済要因などの様々な投資環境要因等によって程度の差こそあれ市場全体とは異なった動きをする銘柄群に区分することが可能と考えられています。主としてバリュート投資によって選別される銘柄(バリュート銘柄)と主としてグロース投資によって選別される銘柄(グロース銘柄)および大型株・中型株と小型株の区分などはその代表的な例と考えられます。

当ファンドは異なる投資スタイルを組み合わせるファンドです。株式の投資対象銘柄を「大中型バリュート」「大中型グロース」「小型ブレンド」の3つの区分に分け、それらを組み合わせることで幅広い投資機会を捉えることを目指します。

2. マルチ・マネージャー運用により、異なる3つの投資スタイル別にそれぞれ専門チームが運用します。

異なる3つの投資スタイルに特化した専門のチームが、それぞれ収益の獲得を目指します。

各投資スタイルチーム毎の特徴と運用方針

「大中型バリュート」運用チーム

- ◆特徴：株価の割安性を評価する定量的な分析と、企業のファンダメンタルズを評価する調査・分析を組み合わせ、割安銘柄を選定することを特徴としています。
- ◆運用方針：主として大中型株の中から、企業の投資価値に比べて株価の割安度が相対的に大きいと判断される銘柄を中心に投資します。銘柄の選定にあたっては、株価の割安性を評価する定量指標と、企業のファンダメンタルズ分析に基づく定性評価を組み合わせ、総合的に判断します。

「大中型グロース」運用チーム

- ◆特徴：企業の業績や将来性、その属する産業の動向などについての十分な企業調査のもと中長期的な視点から利益等の成長が期待できる銘柄を組み入れていくことを特徴としています。
- ◆運用方針：主として大中型株の中から、今期あるいは来期の利益成長が期待できる銘柄や将来の収益成長が期待できる銘柄などに中長期的な視野から投資を行ないます。組入れ対象となる企業の業績や将来性、その属する産業の動向などの調査・分析により数年あるいは将来の利益成長が期待できる企業群を発掘し、株価の水準などを検討しつつ積極的に組入れを行ないます。

「小型ブレンド」運用チーム

- ◆特徴：将来の株価上昇が期待される銘柄をボトムアップ・アプローチにより選定し、投資を行ないます。その際、各企業が置かれた様々なライフステージに即した投資アプローチを採用することを特徴としています。
- ◆運用方針：新興市場と東証一部・二部などに上場する銘柄も含めた小型株全般の中から、将来の株価上昇が期待される銘柄をボトムアップ・アプローチにより選定し、投資を行ないます。その際、各企業が置かれた様々なライフステージ(成長過程に進むことが期待される新しい企業～成長軌道に乗った企業～成熟段階にあるものの再成長を狙っている企業等)に即した投資アプローチを採用することを特徴としています。

— 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 —

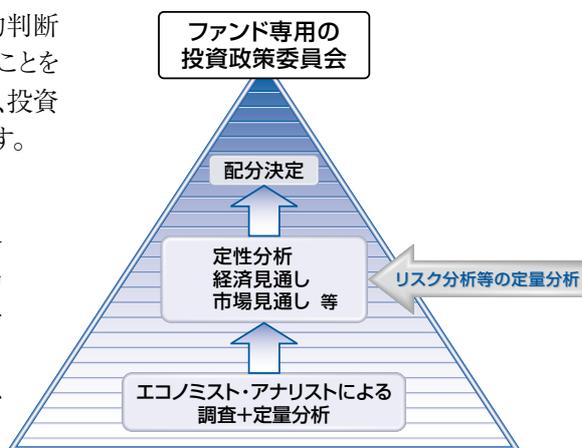
3. スタイル・アロケーションにより、ファンド専用の投資政策委員会が各投資スタイルへの資産配分比率を適宜決定します。

各スタイル運用チームへの資産配分(スタイル・アロケーション)については運用総責任者を中心とする社内エコノミスト、アナリスト等から構成される当ファンド専用の「投資政策委員会」が、投資環境見通し等の定性的判断に加え、リスク管理等の定量的判断も参考にして、適宜変更することを基本とします。資産配分比率決定の頻度は、原則として毎月としますが、投資環境見通し等に変更があった場合等には、適宜行なう場合があります。

各資産配分の考え方

各投資スタイルへの資産配分比率は、ファンド専用の投資政策委員会を構成する各メンバーの市場環境見通し、経済見通し等の定性的判断に加え、ベンチマークの構成比率との乖離度合などのリスク管理等の定量的判断も参考にして決定することを基本とします。その際、社外のエコノミスト等の専門家を含む野村アセットマネジメントの各種投資環境検討会等の見通しも随時活用します。

配分決定のプロセス



4. 株式の実質的な組入れにあたっては、フルインベストメントを基本とします。

◆投資環境、資金動向などを勘案して、運用総責任者が適切と判断した際等には先物取引の利用も含めて株式組入比率を引き下げることがあります。

◆わが国株式市場全体のパフォーマンスを表わす代表的な指数であるTOPIX(東証株価指数)をベンチマークとします。

TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所(以下「(株)東京証券取引所」という。)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は(株)東京証券取引所が有しています。(株)東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行なう権利を有しています。

*ベンチマークはわが国株式市場の構造変化等によっては今後見直す場合があります。また、ベンチマークに対して一定の投資成果をあげることを保証するものではありません。

◆運用総責任者は、平林 茂です。

*ファンドの運用総責任者は、今後変更となる場合があります。

—— 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。——

投資リスク(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

〈基準価額の主な変動要因〉

■**株価変動リスク**：ファンドは、株式の実質組入れを高水準(フルインベストメント)とすることを基本としますので、株価変動の影響を大きく受けます。また、ファンドは各投資スタイルへの配分比率を、株式市場全体の構成比から大きく乖離させる場合がありますので、ファンドの基準価額の動きは株式市場全体の動きと大きく異なる場合があります。

〈基準価額その他の変動要因〉 ・信用リスク ・有価証券の貸付等におけるリスク

—— 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。——

〈その他の留意点〉

・ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

当資料について

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、図表等は、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

〈お申込みメモ〉

●信託期間	無期限(平成12年2月2日設定)
●決算および分配	年2回の毎決算時(原則3月および9月の各20日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、分配方針に基づき分配します。
ご購入時	●お買付価額 お買付のお申込み日の基準価額
	*原則、お買付のお申込み日から起算して4営業日目までにお支払いいただきますが、販売会社によって異なる場合があります。
	●お買付単位 ①一般コース：1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位 ②自動けいぞく投資コース：1万円以上1円単位
	*販売会社によって異なる場合があります。
ご換金時	●ご換金価額 ご換金のお申込み日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
	*原則、ご換金のお申込み日から起算して4営業日目からご換金代金をお支払いいたします。
	*原則、1日1件60億円を超えるご換金は行なえません。 *1日1件10億円を超えるご換金は、受付締切時間が早くなります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
課税関係	原則、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の個別元本超過額(個人の場合は譲渡益)に対して課税されます。(なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。)

※お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

〈当ファンドに係る費用〉

(2009年6月現在)

●お買付手数料	お申込み時にご負担いただきます。 お買付価額に3.15%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額
●信託報酬	ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。 純資産総額に年1.995%(税抜年1.9%)の率を乗じて得た額
●その他の費用	ファンドの保有期間中に、その都度かかります。 (運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。)
	・監査費用 ・組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料 ・外貨建資産の保管等に要する費用 等
●ご換金手数料	ご換金時にご負担いただきます。 なし
●信託財産留保額	ご換金時にご負担いただきます。 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

※お客様には上記の費用をご負担いただきます。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「費用・税金」をご覧ください。

お申込みに際してのご留意事項

- ・ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- ・お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号、加入協会:(社)投資信託協会/(社)日本証券投資顧問業協会

★サポートダイヤル★ ☎0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時(平日営業日は午前9時～正午)

★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

★携帯サイト★ <http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>



〈委託会社〉野村アセットマネジメント株式会社
[ファンドの運用の指図等]

〈受託会社〉野村信託銀行株式会社
[ファンドの保管、管理業務]